

洞 爺 湖 町 議 会 令 和 6 年 3 月 会 議

議 事 日 程 (第 3 号)

令和 6 年 3 月 7 日 (木曜日) 午前 1 0 時 0 0 分開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 議案第 3 7 号 洞爺湖町犯罪被害者等支援条例の制定について
- 日程第 3 議案第 3 8 号 洞爺湖町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について
- 日程第 4 議案第 3 9 号 洞爺湖町介護保険条例の一部改正について
- 日程第 5 議案第 4 0 号 水道法の改正に伴う関係条例の整備について
- 日程第 6 議案第 4 1 号 洞爺湖町公営企業の設置等に関する条例の一部改正について
- 日程第 7 議案第 4 2 号 令和 5 年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算 (第 6 号)
- 日程第 8 議案第 4 3 号 令和 5 年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)
- 日程第 9 議案第 4 4 号 令和 5 年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計補正予算 (第 4 号)
- 日程第 1 0 議案第 4 5 号 令和 5 年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号)
- 日程第 1 1 議案第 4 6 号 令和 5 年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計補正予算 (第 3 号)
- 日程第 1 2 議案第 4 7 号 令和 5 年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業会計補正予算 (第 4 号)
- 日程第 1 3 議案第 4 8 号 令和 5 年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業会計補正予算 (第 3 号)
- 日程第 1 4 議案第 4 9 号 令和 6 年度虻田郡洞爺湖町一般会計予算
- 議案第 5 0 号 令和 6 年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計予算
- 議案第 5 1 号 令和 6 年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計予算
- 議案第 5 2 号 令和 6 年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第 5 3 号 令和 6 年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計予算
- 議案第 5 4 号 令和 6 年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業会計予算
- 議案第 5 5 号 令和 6 年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業会計予算

本日の会議に付した事件

日程第 1 ～日程第 1 4 まで議事日程に同じ

出席議員 (1 1 名)

1 番	石 川 邦 子 君	2 番	小 林 真 奈 美 君
3 番	千 葉 薫 君	4 番	五 十 嵐 篤 雄 君

5 番	今 野 幸 子 君	6 番	室 田 崇 行 君
7 番	大 屋 治 君	9 番	越 前 谷 邦 夫 君
1 0 番	石 川 諭 君	1 1 番	板 垣 正 人 君
1 2 番	大 西 智 君		

欠席議員（1名）

8 番 大 久 保 富 士 子 君

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	下 道 英 明 君	副 町 長	八 反 田 稔 君
総務部長	高 橋 秀 明 君	経済部長	若 木 涉 君
洞爺総合 支 所 長	佐 野 大 次 君	経 済 部 次 長	原 信 也 君
総務課長	末 永 弘 幸 君	企画財政 課 長	藤 岡 孝 弘 君
政策推進 課 長	野 呂 圭 一 君	住民税務 課 長	後 藤 和 郎 君
健康福祉 課 長	佐 々 木 勉 君	子育て支 援 課 長	原 美 夏 君
介護高齢 課 長	高 橋 憲 史 君	観光振興 課 長	田 仁 孝 志 君
産業振興 課 長	仙 波 貴 樹 君	建設課長	篠 原 哲 也 君
上下水道 課 長	細 江 幸 恵 君	地域振興 課 長	兼 村 憲 三 君
農業振興 課 長	片 岸 昭 弘 君	洞爺湖温 泉支所長	金 子 信 之 君
会 計 者 管 理 者	金 子 真 優 美 君	教育長	渋 川 賢 一 君

教育推進 課長	高橋謙介君	社会教育 課長	角田隆志君
------------	-------	------------	-------

代表監査 委員	山口芳行君
------------	-------

職務のため出席した者の職氏名

事務局長	佐藤久志	書記	阿部はるか
------	------	----	-------

庶務係	木村暁美
-----	------

◎開議の宣告

○議長（大西 智君） 皆さん、おはようございます。

現在の出席議員は、10名であります。8番大久保議員から欠席の届出があります。また、7番大屋議員から遅刻の申出があります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

（午前10時00分）

◎会議録署名議員の指名について

○議長（大西 智君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、会議規則第120条の規定により、5番、今野議員、6番、室田議員を指名いたします。

◎議案第37号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第2、議案第37号洞爺湖町犯罪被害者等支援条例の制定についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） それでは、議案書の1ページをお開き願いたいと思います。

議案第37号洞爺湖町犯罪被害者等支援条例の制定についてでございます。

洞爺湖町犯罪被害者等支援条例を次のように定める。

この条例の趣旨でございますが、国は犯罪被害者等の基本計画に基づきまして、犯罪被害者等に対しまして支援制度を整備していたところでございますけれども、さらなる支援体制の充実を図るため、地方公共団体に対しまして犯罪被害者への支援に関する条例を定め、被害者に寄り添う素早い支援に当たることを求められていたところでございます。

これまで当町といたしましては、洞爺湖町防犯及び交通安全に関する条例の制定において交通事故を含めた被害者等への支援を規定し、犯罪被害者の支援に取り組んできていたところでございますけれども、このたび伊達警察署から犯罪被害者等への支援体制の整備のため、個別の条例制定の要請を受けていたところでございます。

このような状況から、当町におきましても犯罪被害者等への支援を規定する新たな条例の制定をご提案するものでございます。

それでは順に説明させていただきます。

まず初めに、第1条の目的でございます。

この条例は、犯罪被害者等の基本法の規定に基づきまして、犯罪被害者等への支援の理念、それから基本事項を定め、被害の回復や軽減、生活再建を支援し、誰もが安心して暮らすことができる町を目指すものでございます。

第2条は、本条例の用語の意義を1号から8号までそれぞれ定義してございます。

2ページになります。

第3条は、本条例の基本理念として、第1号から第4号まで、被害者の尊厳を守り、その状況に合わせた適切な支援と再被害や二次被害への防止、日常生活への継続的な支援、関係機関の相互の連携や協力を掲げ、被害者等への立場に立って適切に支援を推進することとしております。

第4条から第6条までは、町、町民、事業者、それぞれの責務を定めておりまして、被害者支援の施策の実施はもとより、町民や事業者に町の取組への協力や就労環境の配慮に努めることとした規定をしているものでございます。

第7条から13条までは支援の内容を規定しております。その中で、第8条でございますけれども、見舞金の支給を定めてございます。犯罪により亡くなられた方の遺族に対しまして遺族見舞金として30万円、それから重い傷害を負われた方には重傷病見舞金として10万円を支給するとしております。

4ページになりますが、第14条には規定委任がございます。

それから、最後に附則でございます。

附則第1項の施行期日でございますが、この条例は、令和6年4月1日から施行するものでございます。

附則第2項の経過措置として、第8条の規定は、この条例の施行日以後に行われた犯罪行為に資する死亡傷害について適用するものでございます。

附則第3項でございますが、洞爺湖町防犯及び交通安全に関する条例の一部の改正について規定しておりまして、議案説明資料の1ページにもございますが、洞爺湖町防犯及び交通安全に関する新旧対照表で既存の条例中の「犯罪行為による被害者の支援の規定」を削除するというのを改正するものでございます。

以上で説明は終わります。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

9番、越前谷議員。

○9番（越前谷邦夫君） 2ページで、町の責務というところで「犯罪被害者等支援に関する施策を策定し」となっていますが、この施策は策定をもうしてあるのですか。策定しているならば、策定内容を教えていただけませんか。

○議長（大西 智君） 末永総務課長。

○総務課長（末永弘幸君） 今のご質問の件でございますけれども、まず先ほど副町長からもご説明ございましたけれども、洞爺湖町防犯及び交通安全に関する条例が基本となっております。この中で、第6条の防犯及び交通事故によりということで、今回条例の制定に当たりまして犯罪に対しまして突破する条例をまず制定するというのがまず第一にございます。

それと、犯罪被害者等の支援に関する施策の策定実施についてなのですけれども、これにつきましては、基本この条例に基づきまして今後実施するという内容でございます。

6条の事業者の責務でございますけれども、これに関連しますけれども、今回被害に遭われた方に対しまして、町も含めてなのですけれども、長らく被害に遭われた方につきましては、例えば休暇を余儀なくされることも当然想定されてございますので、それらも含めて今回条例の制定を提案してございます。

施策の策定につきましては、現在この条例の提案等含めまして、どのような対応が必要なのかも含めて調整をしているという内容でございます。

以上です。

○議長（大西 智君） 9番、越前谷議員。

○9番（越前谷邦夫君） ちょっと最後聞こえなかったものだから、やはり犯罪被害者支援に関する施策を策定するということから、洞爺湖町としてどういう施策をもって対応していくとするのかも明記されるだろうと思うので、課長、あなたは勉強家だから安心しているのですけれども、ただ、最後の答弁がちょっと聞こえなかったものだから、もう一度お願いします。

○議長（大西 智君） 末永総務課長。

○総務課長（末永弘幸君） すみません失礼しました。

この条例の趣旨に沿って実際に被害に遭われた方に寄り添った対応は、当然国なり道なり市町村なりの役割でそれぞれ行っております。犯罪被害者等の支援の施策策定につきましては、現在この条例の制定と併せて、どのような対応が必要なのか細部を詰めているというような状況になります。

以上です。

○議長（大西 智君） ほかに質疑はございますか。

3番、千葉議員。

○3番（千葉 薫君） 該当者に当たる方は町内ということで、「町内に居住し」というようなことが明記されています。今外国人の方がいっぱい来ておられますけれども、そういう方々が犯罪に遭った場合には遺族のほうに送ることになるのかなと思ったのと、あと、住民票は虻田にあるのだけれども、札幌の学校へ行っているとか、何かしていると、たまたま居住していると、でも実態は帰ってきてこっちにあるとか、そんな二重の曖昧なところもあるかなと思うのですけれども、その辺のところはどういうような判断になるのかなとちょっと思ったものですから、お聞きしたいと思います。

○議長（大西 智君） 2点ほど。

末永総務課長。

○総務課長（末永弘幸君） まず支給の定義の関係かと思いますが、重傷病ということでご本人が被害に遭われた場合、これにつきましては、1か月以上の定義はありますけれども、本人が重傷病になった場合につきましては、町内の住民の方につきましては本人に対し

てお見舞い金を支給するという内容になります。

今お話の、要は、例えば学生で町外に居住されている方につきましては、住民という定義はしてございますけれども、その辺につきましては、例えば住民基本台帳法に基づくものとか当然考えられますけれども、その辺はそのときの状況によって柔軟に対応したいと考えてございます。

○議長（大西 智君） もう1点お願いします。

末永総務課長。

○総務課長（末永弘幸君） 外国人の方につきましては、住民で登録されている方は当然いらっしゃると思いますので、基本この中では国籍等々については触れてございませんので、その点につきましても柔軟に対応するという方向で今検討しているというところです。

以上です。

○議長（大西 智君） 3番、千葉議員。

○3番（千葉 薫君） 外国人の働きに来ている方というのは、基本的に住民票は洞爺湖町に移すのですよね。住民票がなくても住んでおられて仕事をされている方は、基本的には法律違反になるのだと思うのですけれども。そういった方がたまたま洞爺湖町にいて、そんな犯罪なり事故に遭って亡くなるということになると、基本的には町に移住しているという定義になると思うのですけれども、そういう方がそういったことに遭われると、遺族の方に30万円町が払われるのだと、これは確約できる話なのですよね。その辺は曖昧ではなく、その辺のところを確認したいと思います。

○議長（大西 智君） 末永総務課長。

○総務課長（末永弘幸君） ただいまの件でございますけれども、先ほどの定義の話に戻りますけれども、実際にご本人が町内にいらっしゃるって、1か月以上の負傷があった場合については対象になります。ご本人が例えばお亡くなりになられた場合、そしてご親族の方が当然受け取りになりますので、ご親族が町外の場合につきましては、今回の条例に基づく支給の対象からはちょっと外れるのかなと考えてございます。

○議長（大西 智君） よろしいですか。

ほかに質疑ございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありますか。

まず初めに、反対者の発言を許します。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 反対者の発言がなければ、本件に賛成者の発言を許します。

2番、小林議員。

○2番（小林真奈美君） 基本的に賛成という立場でお話しさせていただきたいと思いますが、犯罪被害者等支援条例を制定されたということは、本当に町の取組が前進したなと

いうことで思っていますが、ただし、さっきの質疑の中でもいろいろな質問とかがありまして、そういうところが自分どうなっているかなというところでお話しさせていただきたいと思います。

まず、条例にも書いてあるのですが、重要なことは、犯罪被害者自身による回復が社会全体で、町全体で支えていくことがとても重要ではないかなと思います。犯罪によって受けた被害の回復のために必要な措置、具体的には国や地方公共団体等から様々な支援を受けることを求める権利も含まれなければならないのかなと思っています。例えば犯罪被害者に対して見舞金という形で出ていますけれども、経済的な支援を充実させるということとか、あと、例えば見舞金にしても出るまでかなり時間がかかってしまうことがないように、手続的な負担を軽減するような施策も必要なのではないかなと思います。

先ほど外国人の方のも出ていましたけれども、洞爺湖町で働いている人以外に旅行者の方も多いのではないかなと思います。そういう方に対しての対策なんかもあるのですけれども、京都市の条例で外国人旅行者に対する対応など詳しく書かれていますので、参考にさせていただきたいということと、それから、経済的な支援面については、兵庫県の明石市の条例、明石市犯罪被害者等の支援に関する条例などに、例えば立替支援金制度というのを設けています。これは犯罪被害者が加害者に対する損害賠償請求権の債務名義を取得した場合には、明石市が損害賠償請求権を譲り受けることを条件として300万円を上限に立替支援金を支払うという制度があるのですね。こういう制度とか、あとは総合的支援としては、50万円までの無利子の貸付け等も行っています。明石市としては、犯罪被害者に優しい市は当然犯罪被害者のみならず高齢者、障がい者、子どもにも手厚いという点が言われていて、費用がかかり、市としての負担も大きくて財政的に大変なのではないかという心配も出てくるところですが、むしろ当時の明石市長が言うのは、そのように人々が住みたい、住み続けたいまちづくりに取り組むことで人口が増加し、地価も回復し、市の財政も回復したということであるので……。

○議長（大西 智君） 小林議員、賛成の討論なので、この議案に対して、議案の条例に対してどの部分は賛成なのかといったことを簡潔に討論していただきたいと思います。

○2番（小林真奈美君） 基本的に賛成なのですが、そういうところに充実させて、今後です、充実させていただきたいということでお話ししました。

また、もう一つだけ付け加えてください。この中にぜひ今後考えてもらいたいということは、性の被害者について、その取組について、被害に遭った方が洞爺湖町に相談しやすい体制をつくっていただきたいということも含めて賛成討論とさせていただきます。

今後、さらに充実していくことを求めましてお話しさせていただきました。

○議長（大西 智君） 確認しておきたいと思います。

あくまでも質疑、討論に関しては、議案の中について賛成だったり、反対だったり、質疑だったりといったことで、それぞれ皆さんは質疑、討論をしていただきたいと思います。

これで討論を終わります。

これから、議案第37号洞爺湖町犯罪被害者等支援条例の制定についてを採決いたします。

この採決は、起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（大西 智君） 起立全員です。

したがって、議案第37号洞爺湖町犯罪被害者等支援条例の制定については、原案のとおり可決されました。

◎議案第38号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第3、議案第38号洞爺湖町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） 議案書の5ページをお開き願いたいと思います。

議案第38号洞爺湖町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正についてご提案申し上げます。

洞爺湖町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例を次のように定める。

改正の趣旨でございますが、地方自治法の一部を改正する法律が令和5年5月8日に公布されまして、令和6年4月1日の施行に伴いまして会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給が可能とされたことから、そのことを考慮しまして、当町におきましても会計年度任用職員に対して勤勉手当の支給を開始するための所要の改正を行うものでございます。

詳細につきましては、議案説明資料で説明させていただきます。2ページをお開き願いたいと思います。

第3条の給与等でございます。第3条第1項中及び第2項中の期末手当の次に「、勤勉手当」を追加し、給与等の種類に加えるものでございます。

また、次の13条の2が勤勉手当となります。こちらにつきましては、会計年度任用職員の勤勉手当の支給について規則で定めるもののほか、一般職員の例によるものとして、勤勉手当基礎額に乗じる割合につきましては、給与条例第24条第2項第2号の例によるものとして、会計年度任用職員の勤勉手当の取扱いを新に規定するものでございます。

議案書の5ページに戻っていただきます。

附則第1項施行期日でございます。この条例は、令和6年4月1日から施行するものでございます。

また、附則第2項でございますが、洞爺湖町の育児休業等に関する条例の一部改正について規定しております。議案説明資料の3ページにありますけれども、洞爺湖町職員の育児休業等に関する条例新旧対照表の既存の条例中の第7条の第3項中に会計年度任用職員を除く

という規定がございましたので、それを削除するものとして改正するものでございます。

以上、ご提案申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

9 番、越前谷議員。

○9 番（越前谷邦夫君） 13条の2で「週の勤務時間が15時間30分以上である者に限る」というのですが、洞爺湖町で今現在、15時間30分以上働いている該当者数は何人なのですか。

○議長（大西 智君） 末永総務課長。

○総務課長（末永弘幸君） 令和5年の実人員という形になりますけれども、対象とならない方も当然いるかと思しますので、実人員では125名ほどを予定してございます。

○議長（大西 智君） ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第38号洞爺湖町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第38号洞爺湖町会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正については、原案のとおり可決されました。

◎議案第39号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第4、議案第39号洞爺湖町介護保険条例の一部改正についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） 議案書の6ページをお開き願いたいと思います。

議案第39号洞爺湖町介護保険条例の一部改正についてでございます。

洞爺湖町介護保険条例の一部を改正する条例を次のように定めるものでございます。

条例改正の趣旨でございますが、令和6年度から第9期介護保険事業計画の策定に伴いまして保険料率を改定するものでございます。併せて基準所得金額及び軽減措置金額について改めるものでもございます。

それでは、議案説明資料で説明させていただきます。4ページをお開き願いたいと思います。

洞爺湖町介護保険条例新旧対照表でございます。

第5条の保険料率についてでございます。

第1項につきましては、現行の第8期介護保険事業計画が令和5年度末をもちまして満了することから、年度の字句につきまして「令和3年度から令和5年度まで」を「令和6年度から令和8年度まで」に改めるものでございます。

次に、第1項の第1号から第8号までについてでございます。

令和6年度から令和8年度までの計画期間とする第9期の介護保険事業計画では、第1号被保険者の介護保険料基準額を総支給費、それから地域支援事業費などを見込み算出したものでございます。結果として、保険料につきましては第5号で定める額を基準額とするものでございます。第5号に定める基準額を表記のとおり、ここにありますが「7万2,000円」から「7万4,400円」に改めるものでございます。これに伴いまして、第1号から第8号までの保険料率につきまして、表記のとおりそれぞれ額を改定するものでございます。

6ページをお開き願いたいと思いますが、ここでは、9号から12号まで4号を追加し、並びに13号を改正したものでございます。

第8期の計画におきましては、標準段階を9段階と規定しておりましたが、国の省令の改正に基づく標準段階を「9段階」から「13段階」への多段階化、低所得者の標準乗率の引下げ、それから高所得者の標準乗率の引上げ等に伴いまして、第9期の計画におきまして国の基準に基づき13段階への標準段階を多段階化するものでございます。また併せまして、9号から13号までの保険料率につきましては、国が示す標準乗率に基づきまして、表記のとおりそれぞれ額を改定するものでございます。

もう一度4ページ、5ページに戻っていただきたいと思います。

同じく、第1項の6号のイ、それから5ページになりますが、第7号のイ、第8号のイについてでございます。

この改正につきましては、先ほど説明しましたが、国の省令の改正に基づきまして、9段階から13段階へ多段階化しております。5条の第1項に第9号から第12号までの4号を新設いたしました。要保護者の適正除外規定に係る部分につきまして、それぞれ号数を加えているものでございます。

次に7ページになりますが、第7条の賦課期日後において第1号被保険者の資格取得、それから喪失があった場合についてでございます。

第3項の改正並びに第3項に9号から12号までの4号を加えているものでございますが、保険料の月割により賦課する場合の取扱いについて、先ほどの説明と同様に、国の省令に基づきまして標準段階を9段階から13段階へ多段階化に基づきまして第5条の第1項第9号から12号までの4号について新設したものに伴いまして、引用する条項を第9号から12号まで新たに設けたものでございます。

具体的なものでございますが、参考資料をお配りしているかと思えます。この表のとおり、8期と9期の月額保険料が記載してあります。この表におきましては、これからの対象の方、それから保険料率、それから8期と9期の保険料を比較してございますので、参考にしていただきたいと思います。

それでは、4ページに戻っていただきます。

説明資料の4ページでございますが、第1号の保険料がこれまで「3万6,000円」が「3万3,900円」に、第2号の保険料が「4万5,400円」から「5万1,000円」に、第3号の保険料は「5万4,000円」から「5万1,300円」に、第4号の保険料は「5万9,800円」から「6万1,800円」に、第5号の保険料は「7万2,000円」から「7万4,400円」に、第6号の保険料は「9万円」から「9万3,000円」に、第7号の保険料は「9万3,600円」から「9万6,700円」に、第8号の保険料は「11万200円」から「11万3,800円」に、第9号の保険料は「12万2,400円」から「12万6,500円」となり、併せまして、新たな区分となります10号の保険料は「14万1,400円」に、11号の保険料が「15万6,200円」に、12号の保険料が「17万1,100円」に、13号の保険料が「17万8,600円」になるものでございます。

5ページになりますが、9号から12号までについてでございますが、国の省令により介護保険料の標準13段階のうち、町村民税の本人課税層に当たる境目となります基準所得金額を新たに設けてございます。

9号のアでは合計所得の金額について320万円以上420万円未満である者とし、10号のアでは合計所得金額について420万円以上520万円未満である者とし、11号のアでは合計所得の金額について520万円以上620万円未満とし、12号のアでは合計所得金額については620万円以上720万円未満である者と、それぞれ新設したものでございます。

6ページ下段から7ページの上段にございますが、次に、第3項から第5項までについてでございます。これは国による令和元年度10月から消費税増税に合わせまして低所得者の保険料のさらなる軽減化を図るための改正に伴いまして、介護保険料率の適用について現行の令和3年から5年までを令和6年から8年度までに改めるものでございます。

また、併せまして、低所得者となる第1段階から第3段階までの介護保険料を軽減措置後の額に読み替えて適用するものとし、「2万1,600円」を「2万1,200円」に、「3万6,000円」を「3万6,100円」に、「5万400円」を「5万1,000円」にそれぞれ改めるものでございます。

議案書7ページに戻っていただきまして、附則になります。

この条例は、令和6年4月1日から施行するものでございます。

また、8ページになりますけれども、経過措置といたしまして、令和5年度以前の年度分の保険料につきましては、なお従前の例によるものとしたものでございます。

以上、ご提案申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

9 番、越前谷議員。

○9 番（越前谷邦夫君） 6 ページで、今回改定をされたわけだけでも、第39条第1項第1号だけが3万6,000円から3万3,900円に値下げになった。自分勉強不足なところがあるのだけれども、下がった要因というのは何なのですか。そして、こういう下がった方々の該当者というのは、洞爺湖町はどのぐらいいるのですか。お願いいたします。

○議長（大西 智君） 高橋介護高齢課長。

○介護高齢課長（高橋憲史君） ただいま改正の減額になった中身ということでございます。

こちらにつきましては、第1号段階の方ということになりますけれども、該当される方の人数につきましては、令和6年度見込みでございますけれども839人の方々といったところでございます。

以上です。

○議長（大西 智君） 要因もお願いいたします。

高橋介護高齢課長。

○介護高齢課長（高橋憲史君） 失礼いたしました。下がった要因ということでございます。

こちらにつきましては、国の示す乗率を町といたしましても適応してございますので、それに伴いまして減額となっているということでございます。

以上です。

○議長（大西 智君） 9 番、越前谷議員。

○9 番（越前谷邦夫君） 国の条例に定めているから下げるのだということだけれども、だから、その下がった要因は何なのですかということですよ、中身を言ってくれないと。なぜ下がったのか、ここだけを、第1号だけが。国がこうだから、うちもやったのですということではなくて、下がった要因というのはあると思うのです、理由が。下げた理由、そこを聞きたいのですよ、課長。

○議長（大西 智君） 高橋介護高齢課長。

○介護高齢課長（高橋憲史君） 国のほうで乗率を改定してきたといったところでございますけれども、国のほうにおきましては、いわゆる介護保険の相当給付費であったり、総体事業費が伸びていく中で低所得者層の方々の負担の軽減というのがかねてから課題となってきたところでございます。国におきましてもいろいろな軽減措置の策を講じてきたところですが、やはりより低所得者層の方に対しては、仮に今後乗率が上がっていったとしてもさらなる軽減を図った上で救済をしていかなければならないという立場から乗率を大きく減じさせたといったところになります。

以上です。

○議長（大西 智君） ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありますか。

まず初めに、反対者の発言を許します。

5 番、今野議員。

○5 番（今野幸子君） 議案第39号洞爺湖町介護保険条例の一部改正について、反対の立場で討論させていただきます。

本議案は、第9期である令和6年度から8年度の介護保険料を定めるものですが、第9期計画における第1号被保険者保険料基準額が6,000円から6,200円に引き上げられております。今でも既に介護保険を払うのがせいっぱいという家庭もあり、自分は介護保険料を何とかして納めたとしても、自分は利用料を払えない。だから、収めても介護は受けられないという話を聞くことが少なくはありません。それは受けたいときに利用料を支払う余裕がないからです。導入されたときは、これくらいならと思った人も多かったでしょうが、もはやその2倍から3倍ほどに膨れ上がっています。

ほかに、病院にかかることも増えてきます。そういった出費が増えていますが、年金などは増えることはなく、今後、介護制度を続けるために、介護が受けられないなど介護サービスの抑制につながるとしたならば、この制度は誰のものなのかと問われることになります。その上、要支援1・2はもう既に保険から外され、次は一体何が外されるのか、何が有料化になるのか、保険制度の安定の以前に受けられなくなる人が増えてくることが懸念されます。

どんなときでも安心して必要な介護が受けられる、そういった環境、整備こそが国と行政の責務と考えます。住民福祉の向上を求め、役割を果たすことの呼びかけを強く訴えること、このことを今申し上げ、この場での反対討論といたします。

以上です。

○議長（大西 智君） 次に、本件に賛成者の発言を許します。

1 番、石川邦子議員。

○1 番（石川邦子君） 賛成の立場で討論に参加したいと思います。

今回、3年ごとに介護保険事業計画において向こう3年間の介護保険料の見直しが行われるということで、そのことに関する条例の改正ということでございます。システムにおける保険料の算出を行われまして、その不足する額については介護保険支払準備基金を取り崩して補填をする。それでもなお不足する部分については、北海道の介護保険財政安定化基金から借入れを行う、もしくは保険料の基準額を改正する、この2点でございます。

介護保険事業計画を確認いたしました。介護保険の制度上、財源の半分は保険料で賄うということになっております。残りの半分は国、道、市町村で負担をすることになっております。市町村の一般会計からの繰入金額も12.5%と定められております。

今回保険料を上げざるを得ない要因を考えてみますと、やはり今回の介護報酬の増額改定がかなり大きいこと、そして、また保険料を負担する洞爺湖町の負担する側の人口減少、それとサービスを利用する方々が増加しているということだと思います。国は、所得の低い方、第1段階から第3段階まで負担軽減の措置を行っております。洞爺湖町も所得の低い方については、条件はありますけれども、独自の減免規定もございます。

参考資料の説明が先ほどございましたけれども、参考資料を見ますと、国の基準が変わったということの影響で第１段階では逆に年間400円安くなるということで、第２段階では年間100円の増、第３段階では600円の増となっています。

国の基準が、所得の多い方々はかなり上がるようでございますが、介護保険運営協議会が開催されております。その中での十分な協議の末の今回の改定だと思います。借入れを選択するということは、毎年返還をしていかなければならないわけですから、それを考えるとやはり保険料基準額を上げざるという苦渋の決断をせざるを得ないと思います。

以上のことから、賛成の討論といたします。

以上です。

○議長（大西 智君） これで討論を終わります。

これから、議案第39号洞爺湖町介護保険条例の一部改正についてを採決いたします。

この採決は、起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（大西 智君） 起立多数です。

したがって、議案第39号洞爺湖町介護保険条例の一部改正については、原案のとおり可決されました。

◎議案第40号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第５、議案第40号水道法の改正に伴う関係条例の整備についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） ９ページをお開き願いたいと思います。

議案第40号水道法の改正に伴う関係条例の整備についてでございます。

水道法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例を次のように定める。

この改正の理由でございますが、水道法が改正されたことに伴いまして、関係条例について所要の改正を行うものでございます。

概要は、水道法等による権限を厚生労働大臣から国土交通大臣、それから環境大臣に移管されたため、水道法の一部が改正されたことに伴いまして、厚生労働省令、厚生労働大臣と規定されている部分を改正するものでございます。

第１条は、洞爺湖町水道事業給水条例の一部を次のように改正するものでございます。

それから、第２条の洞爺湖町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正するとございます。

これにつきましては、議案説明資料の８ページの洞爺湖町水道事業給水条例の新旧対照表で説明させていただきます。８ページをお開き願いたいと思います。

改正は、先ほど申し上げたとおり、条例で規定されている「厚生労働省令」を「国土交通省令」に改正するもので、第7条では構造及び材質、それから第8条では工事の申込、第41条では過料にあります「厚生労働省令」とあるのを「国土交通省令」に改めるものでございます。

また、9ページになりますが、洞爺湖町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の新旧対照表でございますが、ここに第4条で水道技術管理者の資格がございます。その6項にある「厚生労働大臣」とあるのを「国土交通大臣及び環境大臣」に改めるものでございます。

議案書に戻っていただきまして、附則でございます。

この条例は、令和6年4月1日から施行するものでございます。

以上、ご提案申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第40号水道法の改正に伴う関係条例の整備についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第40号水道法の改正に伴う関係条例の整備については、原案のとおり可決されました。

◎議案第41号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第6、議案第41号洞爺湖町公営企業の設置等に関する条例の一部改正についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） 10ページをお開き願いたいと思います。

議案第41号洞爺湖町公営企業の設置等に関する条例の一部改正についてでございます。

洞爺湖町公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を次のように定めるものでございます。

改正理由でございますが、令和5年5月に地方自治法が改正されたことによりまして、地

方公営企業法適用事業者において制定する議会の同意を要する賠償責任の免除に関する規定の条文が地方自治法にて引用していることから、変更する必要がある、改正を要したものでございます。

議案説明資料の10ページをお開き願いたいと思います。

第6条でございます。議会の同意を要する賠償責任の免除の地方自治法条項に、現行では「第243条の2の2第8項」を「第243条の2の8第8項」に改めるものでございます。

議案書の10ページに戻っていただきまして、附則でございます。

この条例は、令和6年4月1日から施行するものでございます。

以上、ご提案申し上げます。ご審議のほどお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第41号洞爺湖町公営企業の設置等に関する条例の一部改正についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第41号洞爺湖町公営企業の設置等に関する条例の一部改正については、原案のとおり可決されました。

ここで休憩といたします。再開を11時10分といたします。

（午前10時56分）

○議長（大西 智君） それでは、再開をいたします。

休憩前に引き続き、議案を続けます。

（午前11時10分）

◎議案第42号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第7、議案第42号令和5年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第6号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） それでは、11ページをお開き願いたいと思います。

議案第42号令和5年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第6号）でございます。

令和5年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第6号）は、次に定めるところによる。

第1条でございます。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,837万3,000円を追加しまして、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ83億9,973万4,000円とするものでございます。

第2条でございます。繰越明許費でございまして、地方自治法第213条第1項の規定により、翌年度に繰り越して使用できる経費を、「第2表 繰越明許費」によるものでございます。これは15ページをお開き願いたいと思います。

15ページの第2表、繰越明許費でございます。

2款総務費1項総務管理費で、洞爺地区廃屋施設解体事業1億3,000万円の繰越しでございます。旧ホテルサンシャインの解体工事でございます。

次に、3項戸籍住民基本台帳費、住民基本台帳ふりがな改修事業で449万8,000円の繰越しでございます。

続きまして、3款民生費5項保育所費、保育所統合複合化建設事業で616万円の繰越しでございます。外構工事実施設計でございますが、基本設計の時期の確定が遅かったことから、期間の延長をするものでございます。

それから、14款新型コロナウイルス感染症対策費1項新型コロナウイルス感染症対策費でございます。一つ目は、住民税非課税世帯臨時給付金事業で352万8,000円の繰越しでございます。これは非課税世帯に7万円の給付事業を実施したもので、50世帯を繰越しするものでございます。次に、低所得世帯支援給付金事業で3,075万1,000円の繰越しでございます。これは均等割のみの課税世帯につき7万円の給付事業でございます。それから、低所得世帯支援給付金事業で900万円の繰越しでございます。非課税世帯均等割のみの課税世帯の18歳未満の子どもにつき5万円の加算をする給付金事業でございます。

11ページに戻っていただきまして、第3条の地方債の補正でございます。地方債の変更は「第3表 地方債補正による」としてありますが、こちらにつきましては、事項別明細書の中で説明させていただきます。

今回の3月会議の補正予算につきましては、令和5年度各事業の実績及び決算見込みによる事業費の減を多く計上してございますので、額の大きな減額と、それから増額分についてのみ説明させていただきたいと思います。

それでは、事項別明細書の4ページ、5ページをお開き願いたいと思います。

まず、歳入でございます。

1款町税2項1目固定資産税、現年課税分でございますが、償却資産で企業の設備投資により1,500万円の増を見込んでおります。

それから4項1目町たばこ税、現年課税分でございますが、販売本数の増により900万円の増額でございます。

それから5項1目入湯税、現年課税分でございますが、入湯客数の増によりまして5,000

万円の増額でございます。

それから11款1項1目地方交付税でございます。臨時経済対策費等の追加交付によりまして、普通交付税で4,659万5,000円を増額するものでございます。

次に、13款分担金及び負担金1項分担金1目農林水産業費分担金でございます。751万7,000円の減額でございます。これは北海道の事業費確定による減額でございます。

続いて、2項負担金1目民生費負担金で121万8,000円の減額でございます。その中で増のものがございます。2節保育所費負担金で68万2,000円の増でございます。主なものとしたしましては、保育所広域入所負担金で広域入所受入れによる他町村からの負担金で56万6,000円を増額するものでございます。

一番下になります14款使用料及び手数料1項使用料2目民生使用料でございます。公衆浴場等の使用料の利用者増によりまして90万円を増額するものでございます。

次、6ページ、7ページになります。

15款国庫支出金1項国庫負担金1目民生費国庫負担金で332万1,000円の減。その中で増えているところもございます。心身障害者福祉費負担金の中の障害者自立支援給付費負担金で自立支援給付費扶助の決算見込みによりまして670万5,000円増額するものでございます。それから、2節児童福祉費負担金で、障害児施設措置費負担金で決算見込みにより32万円を増額するものでございます。それから3節になりますが、国民健康保険基盤安定負担金で、国保税軽減者数の増によりまして28万8,000円を増額しております。

次に、2目衛生費国庫負担金は54万9,000円の減額でございます。その中で3節新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金で対象者の受診回数の増によりまして23万7,000円を増額しております。

次に、2項国庫補助金1目総務費国庫補助金でございます。167万5,000円の減額でございます。

2目民生費国庫補助金で498万4,000円を減額してございます。

次に、3目衛生費国庫補助金でございます。92万円の増額でございます。内容といたしましては、1節保健衛生費補助金の母子保健衛生費補助金で、産後ケアの事業の利用者増によりまして21万8,000円の増。それから、次の2節環境衛生費補助金でございますが、これにつきましては二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金で、当初、道の補助で予算計上していましたが、国庫補助に変更したことから518万6,000円を増額しております。

一番下になりますが、4目商工費国庫補助金で4,780万円を増額してございます。これは観光費補助金でございまして、旧ホテルサンシャインの解体工事に係る補助金が採択になったことから増額するものでございます。

なお、予算につきましては令和6年度に繰越しすることとしております。

次、8ページ、9ページでございます。

5目土木費国庫補助金で26万8,000円の増でございます。これにつきましては、橋梁長寿命化の決算見込みにより26万8,000円を増額でございます。

6 目教育費国庫補助金で42万3,000円の減額。

7 目 1 節新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時補助金で280万円の減額でございます。

9 目物価高騰対応重点支援地方創生臨時補助金で827万円の減でございます。これは決算見込みによる減でございます。

16款道支出金 1 項道負担金 1 目民生費道負担金でございます。268万5,000円の減額でございます。そのうち自立支援給付費扶助の決算見込みによりまして335万2,000円の増額もございます。それから 2 段目になりますが 3 節児童福祉費負担金で、障害児施設措置費負担金の障害児給付費扶助の増によりまして16万円を増額してございます。4 節国民健康保険基盤安定負担金で、国保税軽減者数の増により36万3,000円の増額でございます。

次に、2 項道補助金でございます。1 目民生費道補助金24万4,000円の減額でございます。その中で 1 節社会福祉費補助金でございますが、地域づくり総合交付金で福祉灯油の灯油価格高騰による交付基準額が引上げになりまして25万円の増額となっております。下のほうになります 4 節医療助成費補助金でございます。140万7,000円の増でございますが、いずれも医療費の増加による増でございます。

次に、10ページ、11ページをお開き願いたいと思います。

2 目衛生費道補助金で525万円の減額でございます。

次に、3 目農林水産業費道補助金で27万5,000円の減額でございます。そのうち増の分といたしましては、下にありますが化学肥料低減定着対策事業補助金で49万円の増額でございます。これは、土壌分析費の補助が採択になったことから増額するものでございます。それから 3 節水産業費補助金で、地域づくり総合交付金820万円の増額がございます。これは水産雑物の一時堆積整備事業に係る補助が採択になったことから増額するものでございます。

次に、4 目商工費道補助金では506万円の減額、それから 6 目消防費道補助金は40万円の減額、7 目教育費道補助金は84万8,000円の減額、いずれも事業費等の確定による減額でございます。

それから、3 項委託金 1 目総務費道委託金で29万1,000円の減額でございます。交付額の確定によるものでございます。

それから、19款 1 項 1 目繰入金でございます。1 億2,030万円を減額してございます。1 節繰入金でございますが、財政調整基金繰入金で基金繰り戻しによりまして1 億1,000万円の減額でございます。その下の育英資金等教育振興基金繰入金、虻田高校を支援する会の補助金などの事業費の減によりまして220万円の減。下のほうになりますが、公共施設等整備基金繰入金ですが、各種事業費の確定により130万円の減でございます。

次に、12ページ、13ページをお開き願いたいと思います。

中段になりますが、22款 1 項町債 1 目総務債でございます。6,650万円の増額でございます。その要因でございますが、2 節公有施設等解体事業債で洞爺地区の廃屋施設解体事業を見込んでおりまして7,690万円の増額。これは令和 6 年度に繰越しするものでございます。

3 目衛生債は40万円の減額、4 目農林水産業債は200万円の減額、5 目商工債は500万円の減額、6 目の土木債は410万円の減額、7 目消防債につきましては40万円の減額、8 目教育債については70万円の減額でございます。いずれも事業費等の確定によるものでございます。

14ページ、15ページをお開き願いたいと思います。

歳出になります。

1 款 1 項 1 目議会費で160万円の減額でございます。

次に、2 款総務費 1 項総務管理費 1 目一般管理費で40万円の減額でございます。そのうち25節寄附金でございますが、令和 6 年度能登半島地震災害見舞金として150万円を増額させていただいております。

2 目職員福利厚生費で48万円の減額。

3 目公有財産管理費では 1 億6,969万6,000円の増額でございます。公有財産管理事業で、14節になります。工事請負費で 1 億2,656万8,000円の増額でございます。内訳といたしましては、本年庁舎の屋上防水工事を実施した執行残が343万2,000円ございまして、先ほどから説明しております旧ホテルサンシャインの解体で 1 億3,000万円を計上したいことから、相殺した 1 億2,656万8,000円を計上させていただいております。17節備品購入費では事務机やワゴン 5 台等を購入予定で53万2,000円を計上しております。24節積立金、減債基金積立金は臨時財政対策債償還費として普通交付税が追加されたことから1,824万2,000円を増額するものでございます。観光開発基金積立金におきましては、入湯税の増税分について積立てで2,500万円を増額するものでございます。

次に、5 目電子計算管理費 1 万4,000円の増額となっております。その下のほうになりますけれども、13節使用量及び賃借料で旧財務会計システムの利用時期 6 か月延長によりまして41万1,000円の増額。それから17節備品購入費におきましては、パソコン15台購入のために186万5,000円を増額してございます。

16ページ、17ページをお開き願いたいと思います。

7 目財政会計管理費で27万8,000円の増でございますが、償還金で令和 4 年度の国庫支出金の精算により増額するものでございます。

次に、8 目企画費で726万1,000円の減でございます。この中で地域公共交通対策事業の18節負担金補助及び交付金の交付金でございますが、この中で増が一部ございます。生活路線維持事業補助金でバス路線の赤字額の増によりまして51万7,000円を増額するものでございます。

11目交通安全対策費におきましては25万円の減額となっております。

2 項徴税費でございますが、1 目賦課徴収費で15万3,000円の減額。

3 項 1 目戸籍住民基本台帳費で170万5,000円の減額でございます。

5 項 1 目統計調査費で24万6,000円を減額しております。

18ページ、19ページをお開き願いたいと思います。

3 款民生費 1 項社会福祉費 1 目社会福祉総務費で80万円の減額でございます。このうち12

節委託料でございますが80万円の増額でございます。これはホテル等の入浴利用委託料の増で、利用者の増加によるものでございます。

2 目高齢者福祉費で614万円の減額でございます。

次に、3 目心身障害者特別対策費で184万円の増額でございます。心身障害者援助事業で19節に扶助費がございますが、この中で補装具の給付扶助で給付実績の増によりまして25万8,000円の増額。それから自立支援給付費扶助で新規利用者の増や利用日数の増によりまして1,315万3,000円の増額でございます。その下になりますが、自立支援更正医療給付費扶助で給付実績の減によりまして1,038万6,000円を減額しております。

次に、4 目介護保険費につきましては98万2,000円の減額でございます。

6 目後期高齢者医療費で321万2,000円の減額でございます。

3 項医療助成費 1 目医療対策費で300万円の減額。

2 目重度心身障がい者医療助成費で210万円の増額でございます。11節役務費につきましては、審査支払等手数料の増により4万円の増額。それから19節重度心身障がい者医療費扶助につきましては、決算見込みにより増額するものでございます。

次、20ページ、21ページをお開き願いたいと思います。

3 目ひとり親家庭等医療助成費で10万円の増額でございます。これは決算見込みによる増額でございます。

4 目子ども医療助成費70万円の増額でございますが、これも決算見込みによる増額でございます。

次に、4 項児童福祉費 1 目児童福祉総務費で1,104万4,000円を減額してございます。いずれも事業費の確定などによるものでございます。

続きまして、2 目児童特別対策費46万円増額で、児童福祉対策事業でございます。19節扶助費の障害児給付費扶助で、放課後等デイサービス利用実績により64万円の増額でございます。

続いて、5 項保育所費 2 目常設保育所費で566万2,000円の減額でございます。常設保育所運営事業でございますが、その中の10節需用費の賄材料費で食料高騰により228万3,000円を増額するものでございます。

次に、22ページ、23ページをお開き願いたいと思います。

4 款衛生費 1 項保健衛生費 1 目保健衛生管理費で1,112万1,000円を減額してございます。

次に、中段になりますが2 目予防費でございます。761万円の減額でございます。予防接種事業の10節需用費でございますが、医療材料費で子宮頸がんワクチンの価格高騰により23万4,000円を増額させていただいております。

3 目保健衛生指導費で10万円の減となっております。

次に、24ページ、25ページになります。

2 項 1 目環境衛生費で80万8,000円の減でございます。また、2 目環境対策費では81万2,000円の減となっております。

4 項清掃費 1 目清掃管理費で309万1,000円の増。清掃管理事業でございますが、18節負担金補助及び交付金で西いぶり広域連合負担金で決算見込みによりまして429万1,000円を増額するものでございます。

次に、6 款農林水産業費 1 項農業費 1 目農業委員会費でございます。これは8 万円の減でございます。

2 目農業管理費で64万5,000円の減。

3 目農業振興費におきましては1,861万1,000円の減でございます。国営大原地区畑地かんがい維持管理事業の18節負担金補助及び交付金でございますが、道営土地改良事業の全体事業費の減によりまして1,763万8,000円を減額するものでございます。

4 目畜産振興費で73万9,000円の減でございます。

26ページ、27ページをお開き願いたいと思います。

2 項林業費 1 目林業振興費で105万9,000円の減でございます。

3 項水産業費 1 目水産業振興費では467万9,000円を増額でございます。これにつきましては、18節負担金補助及び交付金で水産雑物一時堆積場整備事業補助金、地域づくり交付金が決定になっていることは先ほど報告したのですが、それに伴う増額でございます。

7 款 1 項商工費 1 目商工振興費で1,225万3,000円の減でございます。商工管理事務事業の18節負担金補助及び交付金で、洞爺湖町新型コロナウイルス対応融資利子補給事業で決算見込みにより1,150万円を減額するものでございます。下のほうになりまして、地域振興事業の18節負担金補助及び交付金の中の一番下段にございます住まいる中古住宅取得支援事業補助金で申請者の数が当初の3 件から8 件に増えたことから、160万円を増額させるものでございます。

2 項観光費 1 目観光振興費では93万2,000円の減となっております。

28ページ、29ページをお願いいたします。

2 目観光施設管理費で1,109万円の減でございます。主な理由といたしましては、14節工事請負費で財田自然観察道整備の事業見直しによりまして1,012万円を減額するものでございます。

3 目ジオパーク推進費で25万円の減額でございます。

次に、8 款土木費 2 項道路橋梁費 1 目道路橋梁維持費でございます。7,147万9,000円を増額でございます。虻田地区道路橋梁保守事業で、12節委託料で除雪業務委託料、除排雪の不足費によりまして7,500万円を増額するものでございます。

3 項 1 目河川費は88万円の減額、事業費確定によるものでございます。

次に、30ページ、31ページをお開き願いたいと思います。

4 項公園及び緑化費 1 目公園及び緑化費で10万円の減でございます。

2 目湖畔公園緑化費でございますが、これは390万円の減。職員応募等がなかったことからの減額でございます。

次に、5 項都市計画費 1 目都市計画管理費で74万5,000円の減額。

6 項住宅・建築費 2 目住宅管理費で151万3,000円の減額でございます。

それから 9 款 1 項 1 目消防費では1,517万1,000円の減額でございます。これは西胆振行政事務組合負担金、令和 4 年度の負担金決算の精算によりまして1,517万1,000円を減額するものでございます。

次に、32、33ページをお開き願いたいと思います。

10款教育費 1 項教育総務費 3 目諸費で384万9,000円の減となっております。

2 項小学校費 1 目小学校管理費では580万1,000円の減額でございます。

2 目教育振興費については20万円の減額。

3 項中学校費 1 目中学校管理費では350万円の減額。

それから、2 目教育振興費では50万円の減額でございます。

34ページ、35ページになります。

4 項社会教育費 1 目社会教育総務費で60万円の減額でございます。

2 目社会教育奨励費では200万6,000円の減額となっております。

3 目社会教育施設費では67万円の減額です。児童会運営事業の需要費でございますが、燃料費の決算見込みにより20万2,000円の増額。それから食糧費においては、食料品価格高騰により 5 万8,000円の増額でございます。

それから 5 目文化財費では 7 万円の減額となっております。

5 項保健体育費 1 目体育奨励費では10万円の減額。

3 目給食施設費につきましては24万5,000円の減でございます。

それから、11款 1 項公債費 1 目元金でございます。57万円の増額で、これは借入額の増によるものでございます。

それから 2 目利子でございますが、これは160万円の減で、当初見込率の減により減額するものでございます。

36ページ、37ページでございます。

12款 1 項 1 目給与費で1,200万円の減額でございます。職員給与費でございますが、一般職の給与で中途退職者等があったことから1,200万円の減額でございます。

それから、13款 1 項 1 目予備費で2,198万2,000円の減額でございます。

14款 1 項新型コロナウイルス感染症対策費 1 目生活支援対策費で1,219万7,000円の減額でございます。これにつきましては、商品券の販売実績や対象世帯数の確定等によりまして減額してございますので、詳細についての説明は省略させていただきます。

以上、ご提案申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

質疑があるのであれば、質疑のほうは午後からにしたいと思います。

ここで休憩いたします。再開を午後 1 時といたします。

（午前 1 1 時 4 6 分）

○議長（大西 智君） それでは、再開をいたします。

（午後 1時00分）

○議長（大西 智君） 休憩前に戻り、一般議案を続けたいと思います。

午前中、議案第42号令和5年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第6号）についての提案理由の説明が終わっております。この説明の後の質疑から行いたいと思います。質疑はございますか。

10番、石川諭議員。

○10番（石川 諭君） 繰越明許費のところでございます。民生費5項保育所費、保育所統合複合化建設事業、ここで616万円とありますけれども……。

○議長（大西 智君） ページ数と項目のほうをちょっと。

○10番（石川 諭君） 15ページ、繰越明許費。ここに民生費の保育所費616万円とあるのですけれども、ここの複合化建設事業で、繰り越した後の工期と、それから繰越ししなければならない理由。問題点として、発注者はこの工期でできるとの判断から発注した。業者もこの工期でできるとのことで契約し、受注している。完了しないのであれば、契約に基づき違約金を取るべきではないだろうか。指名の停止も行うべきではないだろうか。また、令和5年度当初予算にあったにもかかわらず、発注できなかった理由は何か。もし早く発注したらできたのではないか。基本設計を受注している事業者であれば測量もやっているのです、できたのではないかということで、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（大西 智君） かなりの件数なので、もう一度お願いいたします。

○10番（石川 諭君） まず、繰り越した後の工期。繰越ししなければならない理由というのをお聞きして、その後、発注者はこの工期でできるとの判断から発注した。業者もこの工期でできるとのことで契約し、受注している。完了していないのであれば、契約に基づき違約金を取るべきではないだろうか。指名の廃止も行うべきではないだろうか。また、令和5年度当初予算にあるにもかかわらず、発注できなかった理由は何か。早く発注したらできたのではないか。基本設計を受注している事業者であれば測量もやっているのです、できたのではないか。これでなぜ繰越しをしなければならないのかというところの理由をお聞きしたいと思います。

○議長（大西 智君） 数が多いのですけれども、行政側の理解は。

高橋総務部長。

○総務部長（高橋秀明君） まず、発注できなかった理由でございますけれども、令和5年度に実施設計と外構工事の複合化の基本設計と外構工事の実施設計を発注する予定でございましたけれども、住民の意見を聞くために当初予定していた工期から半年ほどずれてきたところでございます。理由を申しますと、住民の合意形成を得るためにそれだけの時間を要したというところがまず遅れた理由でございます。

○議長（大西 智君） あと何件かありましたけれども。

篠原建設課長。

○建設課長（篠原哲也君） 繰り越した後の工期についてでございますけれども、今回繰越明許費の許可をいただいた後で工期の変更の契約をする予定でございます。予定しています工期に関しては、10月末ぐらいを予定しております。工事の中で外構設計のほかに開発行為の許可申請の事務書類の作成だとか、あと来年度の予算編成に向けて10月末ぐらいまでに仕上げなければならないということで、10月末ぐらいまでを見込んでおります。

先ほど説明もありましたように、外構の実施設計に関しましては、基本合意を得るためになかなか時間を要して、12月に契約しております。この時点で、当初契約におきましては、年度内の契約しかできませんので契約しております。その中で、受注業者と町が協議をいたしまして年度内の工期の完成は難しいということで、お互いに合意した上で工期を変更しますので、指名停止だとかといった措置は考えておりません。

○議長（大西 智君） あと違約金の関係も出ていたかと思うのですけれども。

篠原建設課長。

○建設課長（篠原哲也君） 違約金に関しても、お互いの合意の上で工期を変更して繰り越すものですから、違約金は発生しないものと考えてございます。

○議長（大西 智君） 10番、石川論議員。

○10番（石川 論君） 先ほど繰越ししなければならない理由ということで、合意できていないということなのではございますけれども、先ほど住民との話し合いができていない、でも、ちょっと戻りますけれども、住民との話し合いというのは、できていませんでしたよね。合意できていませんでしたよね。それにもかかわらず進めているということで、昨日もちょっと話したのですけれども、公共施設総合管理計画、この中で住民との合意を得て進めるということになっているのに、なぜ話し合いもせずに進めているのかというところ、そこが一番の問題なのですよ。それだけです。

○議長（大西 智君） 進めているということではなくして、繰越明許費の基本的な、なぜ繰越明許に至ったのかということの議案だと私は思っております。その中での説明をお願いしたいと思うのですけれども。先ほど総務部長から答弁があったのですけれども、いま一度そちらで答弁していただければと思います。

高橋総務部長。

○総務部長（高橋秀明君） 昨年3月に住民の意見を聞いて、その後も様々な意見を聞きながら実施設計を発注する、外構工事も発注するというところで、意見を聞くために期間を要したといったところから繰り越しするというような状況になったというところでございます。

○議長（大西 智君） ほかに質疑はございますか。

9番、越前谷議員。

○9番（越前谷邦夫君） 23ページであります。保健衛生指導費のところ、節で行きますが、17節備品購入費のところ、伺っておきたいなと思います。

ワクチン接種の件なのですが、実は来月から有料ということになるのですね。相当高額な金額になるようでありますけれども。それで、新型コロナワクチン接種委託料で75万8,000円の減額ということになっているのですが、該当者が何名で、そして何名接種されたのか。そして、自分、勘違いであつたらごめんなさいね。3月いっぱいまででなかったかなという気がするのですよ。それが、ここでもう減額と出ているということはどういうことなのかなということでご伺っておきたいなと思います。

それから、29ページになります。道路橋梁維持費のところ、12節委託料の除雪業務委託料で7,500万円。今回、地球温暖化等によって非常に気候の変動もあつて、鮮明に覚えているのは1月8日には40センチ以上降ったと。ところが、その前後はあまり、自分の記憶だったら除雪車が毎度出なければならないような除雪状態ではなかったのではないかなと、ちょっとごめんなさいね、自分はそう思っているのだけれども。それは局地的に降ったということもあり得るのかもわからないけれども、当初予算が委託料は幾らで、そしてなぜ7,500万円も相当な金額ですから、7,500万円も委託料を増にしなければならなかったのか。それは稼働日数によってこうなったのだということであればそれまでなのだけれども、だけど毎度毎度除雪車が走らなければならなかった除雪状況でなかったのではないかなと。自分は本町よりいいから分からないのだけれども、その辺ちょっと伺っておきたいなと思います。

○議長（大西 智君） 佐々木健康福祉課長。

○健康福祉課長（佐々木 勉君） コロナワクチン接種の関係でございます。

3月31日までなのに、なぜこの額が確定するのかということでございます。まだ額は確定しているものではございません。ただ今現状として、個別接種を病院のほうでまだ当然やっております。その中で3月の対象者を大体見込んで、それ以上かなり多いものについて減額させていただいているということでご認識いただきたいなと思います。

それと、昨日大屋議員の一般質問でもありましたけれども、接種者につきましては、令和5年度については春と秋に行つてございまして、春の接種については個別接種、秋の接種につきましては個別と集団接種を行つてございます。それで昨日、高齢者が秋接種の場合は接種から3か月経過して65歳以上だとか、基礎疾患を持っている方だとか、7回目のときには生後6か月以上から全世帯が対象だとか、それぞれ違いますので、具体的な数字というのは押さえていないのですけれども、割合といたしまして、全世帯で打つた方の人数でいけば、6回目が高齢者でいけば1,968名接種されておまして、7回目のときには1,272名が接種しているという状況でございます。

以上です。

○議長（大西 智君） 原経済部次長。

○経済部次長（原 信也君） 除雪費の補正7,500万円の関係でございます。こちらにつきましては、確かに1月8日に大雪が降りました。それでその後始末で2月初旬ぐらいまで排雪に相当な労力を要してございます。それで、朝の2時ぐらいからずっとダンプを、昨日2番議員の答弁にもございましたように、朝2時とか3時から出て3週間休みなくやっていって

ございました。

それと下台のほうは、その後あまり雪が降ってございませんけれども、やはり洞爺の高台については随時出ているものですから、今回の7,500万円については過去2年間の平均を計上させていただきました。これから、もう雪も落ち着いてきますので、この額で足りるのかどうかというところはちょっと分からないですけれども、当面、2年間の平均を取らせていただいて、この金額の補正を上げさせていただいているところでございます。

以上です。

○議長（大西 智君） あともう1点、当初予算のほうを。

原経済部次長。

○経済部次長（原 信也君） 当初予算は5,000万円で組んでございます。それで、都合7,500万円と合わせると1億2,500万円の予算ということになろうかと思えます。

以上です。

○議長（大西 智君） ほかに質疑はございませんか。

11番、板垣議員。

○11番（板垣正人君） 質問というよりも確認です。

27ページの林業振興事業の中で、有害鳥獣捕獲業務委託料とあります。金額14万6,000円はいいのですが、成果いろいろあったと思うのですが、中身の結果というか、例えば鹿対策だとか、いろいろな鳥獣ですか、いますよね、そういう関係でどういう成果があったのかということと、もう一つ、前も私、何年か前に言って、ドローンとか使ってやっているのかなと思って、その辺のドローンの活用の話も聞けたらなと思います。よろしくお願いします。

○議長（大西 智君） 片岸農業振興課長。

○農業振興課長（片岸昭弘君） 有害鳥獣捕獲業務委託料の減額の関係でございます。この減額の理由でございますが、国に交付金の要望をしてございまして、当初は町の予算の範囲内で捕獲業務を実施する予定でございましたが、国の交付金が決定して、洞爺湖町鳥獣被害防止対策協議会が実施主体となりまして行うということから、不用になったということでございます。

それから、捕獲の実績の関係でございますけれども、本年度も前年を上回る140頭ぐらいの捕獲に至っております。また、冬期の一斉捕獲につきましても、ハンターのご協力をいただきまして2週間前と今週月曜日に行っております。それから、そのほかに忍び猟という勢子がない状態でハンターが独自で入っていく狩猟なのですが、それを合わせまして月曜日までの捕獲頭数が9頭捕獲できております。

また、ドローンの活用に関係でございますけれども、月浦のほうで3週間ほど前に行った捕獲に対しまして、事前にドローンを飛ばして鹿がいることを確認いたしました。その後、勢子が入ってハンターと無線で連絡を取りながら、ドローンの上空の画像を確認しながらハンターに無線でそちらに行っているとか、反対を向いているとかという情報を共有しながら

捕獲に至っております。今週の捕獲にドローンは活用していませんけれども2頭捕獲できまして、本年度は雪が少なくて鹿が早く逃げてしまうというような想定をしていたのですけれども、捕獲ができたということで、今後につきましてもハンターのご協力をいただきながら1頭でも多く捕獲していきたいと思っております。

以上です。

○議長（大西 智君） ほかに質疑はございますか。

4番、五十嵐議員。

○4番（五十嵐篤雄君） 事項別明細書の4ページ、5ページになります。町税のところの固定資産税でございます。貴重な自己財源でございます。たばこ税、入湯税も増加しております。大変いい傾向だなと思いますが、固定資産税の1,500万円の要因につきましては企業の設備投資等によるということの説明をしていただきましたけれども、差し支えない範囲で構いませんが、件数とかどういう設備投資が行われた結果なのか、お話しできる範囲で結構ですがしていただきたいということと、コロナ禍のときに、たしか固定資産税の減免の措置が取られて、それは結果的には国が持ってくれたので町としての収入源にはならなかったと私は理解しておりますが、今現在にあって、町独自で減免等の措置を取っている例があるのかどうか、このことについても伺います。

○議長（大西 智君） 答弁をお願いします。

後藤住民税務課長。

○住民税務課長（後藤和郎君） まず固定資産税の関係でございます。固定資産税の関係につきましては、本町地区にある青葉地区の水力発電に絡む償却資産の関係で増額になったというものでございます。

減免に関しましては、今現在コロナに関する減免については、ないと記憶しております。

○議長（大西 智君） 4番、五十嵐議員。

○4番（五十嵐篤雄君） 具体的な例があればしょうけれども、今の説明だけで1,500万円も税収になるのかどうか分からなかったもので、もうちょっと詳しくできる範囲でということと、別にコロナの部分はなくなったと思いますが、それ以外に継続している減免措置はないのですかという質問です。

○議長（大西 智君） 藤岡企画財政課長。

○企画財政課長（藤岡孝弘君） 財政的なところからご説明します。

まず、固定資産税で償却資産の1,500万円ですけれども、先ほど住民税務課長から答弁あったのですが、一番大きなのは、固有名詞出してしまうかもしれないのですが、北海道電力の水力発電の関係で、ここ3年ぐらいかけて大規模な設備投資を行っておりまして、それに関わる部分が大部分だという認識でございます。

それから、町独自のコロナの減免以外でということですが、国際観光ホテル減免、これは国際観光ホテルに登録しているホテルの固定資産税の減免、固定資産税の税額の20%を登録しているホテルに減免しているという町独自の減免措置はやっているものがござい

す。

以上でございます。

○議長（大西 智君） 4番、五十嵐議員。

○4番（五十嵐篤雄君） 3回目ですからこれで最後にします。

経営的なことやいろいろな関係で国際云々という減免措置が取られていると随分前からこの減免措置が取られているのではないかと思います。経営上の厳しさなのか何なのか理由は分かりませんが、これは今後もずっと継続するのですか。困っている方はたくさんあちこちでいらっしゃる中で、基幹産業なことは十分分かりますが、援助するも期間をしっかりと定めて、経営が改善されたら、それは従来どおりいただくというような措置を取らなければ、やっぱり公平感がないというふうに理解しますので、今すぐどうという話ではありませんが、考え方だけお聞かせください。

○議長（大西 智君） 八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） 今の国際観光ホテル関係の減免で、私どももちょっと最近それを気にしているところでございまして、コロナの関係で今までは大変厳しい状況があつてそういう話をとてもできる状況ではないということと、今、幸いにもお客さんが見えになってきているので、どこかのタイミングでどういうふうに切り崩してというかお話をさせていただこうかということは、当然私どもは内部で検討はさせていただいています。ただ、まだ相手方がいることですし、先ほど議員が言われたように、時間を決めてなくしていくというか、減免を緩和していくという方法が必要かなとは本当に思っています。

その中で、対象のホテルが山の上の大きなホテルだったり、温泉の本社がここにあるなど、いろいろバランスがあるものですから、ここは取りたいけれども、こっちは地元なのでみたいなことも考えながら、いろいろ内部では本当に協議をさせていただいておりますが、最後に言っていたのとおり、これから時間をかけて、それについてはいろいろキャッチボールしながら検討させていただければと思います。

以上です。

○議長（大西 智君） ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありますか。

まず、本件に反対者の発言を許します。

10番、石川諭議員。

○10番（石川 諭君） 私も初めてなので、うまく的を射ているかどうかというのがよく分かりませんが、繰越明許費のところ、保育所の保育所統合複合化建設事業の繰越明許について、ちょっと納得がいかないのでもって反対することにしております。反対の文章は作ってきておりませんが、口頭で反対ということを明確に申し上げたいなと思っております。あと、ほかの部分ではさほど私は反対という形は取っておりませんが、こ

の繰越明許費に関してはちょっと納得がいかないということであります。

○議長（大西 智君） 次に、本件に賛成者の発言を許します。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） なければ、討論を終わります。

これから、議案第42号令和5年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第6号）についてを採決いたします。

この採決は、起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（大西 智君） 起立多数です。

したがって、議案第42号令和5年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第6号）については、原案のとおり可決されました。

◎議案第43号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第8、議案第43号令和5年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） それでは、議案書の17ページをお開き願いたいと思います。

議案第43号令和5年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）でございます。

令和5年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

第1条でございます。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,650万円を減額しまして、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12億3,120万円とするものでございます。

以下、事項別明細書で説明させていただきます。4ページ、5ページをお開き願いたいと思います。

歳入でございます。

3款道支出金1項道負担金1目保険給付費等交付金でございます。1,350万円の減額でございます。保険給付費の減額によるものでございます。

5款1項繰入金1目保険基盤安定繰入金で83万9,000円の増でございます。1節保険基盤安定繰入金軽減分及び2節保険基盤安定繰入金支援分については、決算見込みによる増でございます。3節未就学児均等割保険税繰入金は、繰入額の確定によるものでございます。

2目職員給与費等繰入金300万円の減。決算見込みによるものでございます。

4目財政安定化支援事業繰入金71万2,000円の減。繰入額の確定によるものでございます。

5目その他一般会計繰入金15万5,000円の減。これにつきましては、各繰入金の補正に伴

う調整により減になるものでございます。

6 目産前産後保険税繰入金 2 万 8,000 円の増。これは算定額の確定による増でございます。
次に、6 ページ、7 ページをお開き願いたいと思います。

歳出でございます。

2 款 1 項保険給付費 1 目療養費でございます。一般被保険者の療養給付費で 1,000 万円の減額でございます。これは決算見込みによるものでございます。

次に、4 目出産育児諸費で 350 万円の減でございます。これにつきましては、出産育児の一時金で出産数の減によるものでございます。

9 款 1 項 1 目予備費でございます。300 万円を減額するものでございます。

以上、ご提案申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第 43 号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第 43 号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）については、原案のとおり可決されました。

◎議案第 44 号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第 9、議案第 44 号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） それでは、議案書の 20 ページをお開き願いたいと思います。

議案第 44 号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）でございます。

令和 5 年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）は、次に定めるところによる。

第 1 条でございます。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 423 万 5,000 円を減額し、歳

入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12億3,552万7,000円とするものでございます。

以下、事項別明細書にて説明させていただきます。4ページ、5ページをお開き願いたいと思います。

歳入でございます。

1款1項介護保険料1目第1号被保険者介護保険料で523万4,000円の減でございます。現年度分につきましては、第1号被保険者の減、それから滞納繰越分は決算見込みによるものでございます。

2款国庫支出金1項国庫負担金1目介護給付費負担金で203万6,000円の減でございます。各事業費の決算見込みによるものでございます。

2項国庫補助金1目調整交付金で1,086万4,000円の増でございます。交付率の確定による増額でございます。

2目地域支援事業交付金で総合事業でございますが70万4,000円の減でございます。介護予防生活支援サービス事業費の決算見込みによるものでございます。

3目地域支援事業交付金で包括的支援事業・任意事業でございますが13万5,000円の減。包括的支援事業の決算見込みによるものでございます。

4目保険者機能強化推進交付金で2万1,000円の減。これは交付金の額の確定によるものでございます。

5目介護保険保険者努力支援交付金53万円の増。交付金の額の確定によるものでございます。

6目介護保険事業費補助金で16万9,000円の増でございます。システム改修費に伴う増となっております。

次に、3款道支出金1項道負担金1目介護給付費負担金で8万3,000円の増で、各事業費の決算見込みによるものでございます。

2項道補助金1目地域支援事業交付金の総合事業で44万円の減。これは介護保険生活支援サービス事業費の決算見込みによるものでございます。

一番下になりますが、3目地域支援事業交付金の包括的支援事業・任意事業につきましては6万8,000円の減で、包括的支援事業の決算見込みによるものでございます。

6ページ、7ページをお開き願いたいと思います。

4款1項支払基金交付金1目介護給付費交付金で162万3,000円の減でございます。現年度分で介護給付費の減による交付金の減。

2目地域支援事業交付金（総合事業）でございますが95万円の減。これにつきましては、介護予防生活支援サービス事業の決算見込みによるものでございます。

6款繰入金1項一般会計繰入金1目介護給付費繰入金でございます。75万2,000円の減、現年度分で介護給付費の減による繰入金の減でございます。

2目地域支援事業繰入金でございます。総合事業でございますが44万4,000円の減。これも決算見込みによる減でございます。

4目その他一般会計繰入金 6万3,000円の増。これは事務費繰入金で総務費の増額に伴う増でございます。

5目地域支援事業繰入金で包括的支援事業・任意事業で11万6,000円の増でございます。これも決算見込みによるものでございます。

2項基金繰入金 1目介護保険給付費支払準備基金繰入金で364万4,000円の減。介護保険特別会計決算見込みによる繰入金の減でございます。

8ページ、9ページをお開き願いたいと思います。

歳出になります。

1款総務費 1項総務管理費 1目一般管理費で21万円の増。4節共済組合負担金の決算見込みによるものでございます。それから18節保険者ネットワーク負担金は、介護報酬改定に係る総合行政システムの負担金の増によるものでございます。

2項介護認定審査会費 2目認定調査費で2万円の減になってございます。これにつきましては、11節手数料で15万円の増がございしますが、主治医意見書の作成費の増によるもの、12節認定調査委託料でございしますが、決算見込みによるものでございます。

2款保険給付費 1項 1目介護サービス等諸費で1,220万円の減でございしますが、これは、ここにあります各給付費の決算見込みによる減でございます。

2項 1目介護予防サービス等諸費で385万円の増。これは介護予防サービス給付費、計画給付費ともに決算見込みによる増でございます。

3項 1目高額介護サービス等費50万円の減。これは決算見込みによる減でございます。

4項 1目高額医療合算介護サービス等費で18万円の減でございます。決算見込みによるものでございます。

10ページ、11ページをお開き願いたいと思います。

5項 1目特定入所者介護サービス等費で300万円の増。決算見込みによるものでございます。

6項その他諸費 1目審査支払手数料 2万2,000円の増でございしますが、審査手数料の決算見込みによるものでございます。

3款地域支援事業費 1項介護予防・生活支援サービス事業費 1目一般介護予防事業費の4万円の増でございしますが、これは介護予防ボランティア活動の増加によるものでございます。

2目介護予防・生活支援サービス事業費で341万2,000円の減でございしますが、委託料の減で通所型サービスC事業利用者減による減でございます。それから負担金の減は総合事業利用者の減による減でございます。

3目介護予防ケアマネジメント事業費15万円の減でございしますが、これは委託料の減で、委託件数の減によるものでございます。負担金の減は、住所地特例利用者の減による執行残でございます。

2項 1目包括的支援事業費の16万6,000円の減でございしますが、共済費は決算見込みによる執行残、委託料は委託件数の増によるものでございます。

6 款 1 項 1 目予備費で527万1,000円を増額するものでございます。

以上、ご提案申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第44号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第44号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）については、原案のとおり可決されました。

◎議案第45号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第10、案第45号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長

○副町長（八反田 稔君） 議案書の23ページになります。

議案第45号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）でございます。

令和 5 年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）は、次に定めるところによるものでございます。

第 1 条でございます。歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ101万3,000円を減額しまして、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 1 億8,870万8,000円とするものでございます。

以下、事項別明細書でご説明させていただきます。4 ページ、5 ページをお開き願いたいと思います。

歳入でございます。

1 款 1 項 1 目後期高齢者医療保険料でございます。219万9,000円の増で、これは障害認定等による加入者増による増でございます。

2 款繰入金 1 項一般会計繰入金 1 目保険基盤安定繰入金で270万4,000円の減でございます。

保険基盤安定負担金の額の確定により減額するものでございます。

3 目その他一般会計繰入金で50万8,000円の減でございますが、これは広域連合市町村事務費負担金の確定により減額するものでございます。

次に、6 ページ、7 ページになります。

歳出です。

2 款 1 項 1 目後期高齢者医療広域連合納付金で101万3,000円の減でございます。要因といたしましては、一つは、事務費負担金で58万8,000円の減は広域連合市町村事務費負担金の確定による減、それから保険料等負担金50万5,000円は決算見込みによる減でございます。

以上、ご提案申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第45号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第45号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）については、原案のとおり可決されました。

◎議案第46号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第11、議案第46号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計補正予算（第 3 号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） それでは、議案書26ページをお開き願いたいと思います。

議案第46号令和 5 年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計補正予算（第 3 号）でございます。

第 1 条、令和 5 年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計補正予算（第 3 号）は、次に定めるところによるものでございます。

第 2 条、予算第 3 条収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。これにつきましては、補正予算に関する説明書にて説明させていただきます。最後のページの 4 ページにな

ります。

収益的収入でございます。

1 款水道事業収益 2 項営業外収益 3 目他会計補助金でございまして、300万円を減額するものでございます。これは支出にあります動力費の減によるものでございます。

それから、収益的支出でございます。

1 款水道事業費用 1 項営業費用 1 目原水及び浄水費で700万円の減でございます。電力料金で決算見込みにより減額するものでございます。

2 目配水及び給水費で162万6,000円を増額するものでございます。花和送水ポンプ場流量計等々修繕費の増によるものでございます。

2 項営業外費用 1 目支払利息及び企業債取扱諸費で61万5,000円を増額でございます。企業債利息率の増額によるものでございます。

4 項1目予備費は175万9,000円を増額するものでございます。

議案書に戻っていただきまして、第3条下段にございます、予算第9条他会計からの補助金「3,700万円」を「3,400万円」に改めるものでございます。

以上、ご提案申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第46号令和5年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計補正予算（第3号）についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第46号令和5年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計補正予算（第3号）については、原案のとおり可決されました。

◎議案第47号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第12、議案第47号令和5年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業会計補正予算（第4号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） 議案書27ページでございます。

議案第47号令和5年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業会計補正予算（第4号）でございます。

第1条、令和5年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによるものでございます。

第2条、予算第3条収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。これにつきましては、補正予算に関する説明書でご説明させていただきたいと思います。6ページ、最後のページになります。

収益的収入でございます。

1 款簡易水道事業収益 2 項営業外収益 3 目長期前受金戻入で11万5,000円を減額するものでございまして、資産整理に伴うものでございます。

それから、5 目他会計補助金で600万円の減額でございます。決算見込みによる減額でございます。

それから、収益的支出でございます。

1 款簡易水道事業費用 1 項営業費用 1 目原水及び浄水費で64万5,000円を減額するものでございます。修繕費の執行残が出たことから減額するものでございます。

2 目配水及び給水費で229万4,000円を減額するもので、こちらにつきましては、修繕費で35万2,000円ほど増額がありましたが、動力費、メーター費と工事請負費の減によりトータルで減額するものでございます。

4 目減価償却費で23万4,000円の減額で、資産整理に伴う減額でございます。

4 項 1 目予備費では294万2,000円の減額でございます。

議案書に戻っていただきまして、27ページの下のほうになります。

第3条、予算第9条他会計からの補助金で「4,500万円」とあるのを「3,900万円」に改めるものでございます。

第4条は、予算第10条たな卸資産の購入限度額をメーター費の減額によりまして「260万8,000円」を「210万8,000円」に改めるものでございます。

以上、ご提案申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第47号令和5年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業会計補正予算（第4号）についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第47号令和5年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業会計補正予算（第4号）については、原案のとおり可決されました。

◎議案第48号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（大西 智君） 日程第13、議案第48号令和5年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） 議案書28ページでございます。

議案第48号令和5年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業会計補正予算（第3号）でございます。

第1条、令和5年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによるものでございます。

第2条、予算第3条収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

第3条でございますが、予算第4条の本文括弧書中「資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額9,005万7,000円」に改めるものでございます。これらにつきましては、補正予算に関する説明書で説明させていただきます。8ページをお開き願いたいと思います。

収益的収入でございます。

1 款下水道事業収益 1 項営業収益 1 目下水道使用料でございます。430万円を増額するもので、決算見込みにより増額するものでございます。

2 項営業外収益 3 目長期前受金戻入で2,540万6,000円を増額するものでございます。資産整理に伴う増額でございます。

それから、4 目消費税及び地方消費税還付金で804万5,000円の減額でございます。消費税納付につきましては、工事の繰り越しのため減額するものでございます。

9 ページになります。

収益的支出でございます。

1 款下水道事業費用 1 項営業費用 1 目管渠費で300万円を減額するもので、委託料、修繕費の決算見込みにより減額するものでございます。

2 目処理場費1,930万円の減額で、燃料費、委託料、動力費、薬品費の決算見込みによる減額でございます。

3 目総係費173万8,000円の減額でございます。給料は人事異動による減額や手当も増額となっております。賃借料は、決算見込みにより減額するものでございます。

4 目減価償却費4,888万3,000円の増額でございます。有形固定資産減価償却費で資産整理

に伴う増額でございます。

2 項営業外費用 2 目消費税及び地方消費税で60万円の減額。消費税確定による減額でございます。

3 項特別損失 1 目過年度損益修正損で16万2,000円の増額でございます。これは不納欠損額の計上による増額でございます。

4 項 1 目予備費で274万6,000円の減額でございます。

次に、最後の10ページをお開き願いたいと思います。

資本的収入でございます。

1 款資本的収入 1 項企業債1目建設改良企業債で390万円の増額と、それから 3 項 1 目国庫補助金1,220万円の減額でございますが、これは国庫補助事業の工事内容の変更によるものでございます。

資本的支出でございます。

1 款資本的支出 2 項 1 目建設改良費2,060万円の減額で、公共下水道ストックマネジメント実施計画の策定を見送ったことから減額するものでございます。

議案書の29ページに戻っていただき、第4条になります。予算第5条、債務負担行為における期間を「令和5年度から令和5年度まで」のものを「令和5年から令和6年度まで」に改めるものでございます。これにつきましては、終末処理場ほか機械電気設備更新事業の適正な工期を確保するため、令和6年度まで工期を延長するものでございます。

第5条でございます。予算第6条の企業債を次のとおり補正するものでございまして、公共下水道事業の限度額を公共ますの設置工事の増によりまして1,950万円に増額するものでございます。また、公営企業会計適用事業については、対象となる事業の執行額の減によりまして限度額を70万円に変更するものでございます。

第6条、予算第9条で定めた経費の金額として職員給与費を123万8,000円減額しまして、3,842万円に改めるものでございます。

以上、ご提案申し上げます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 討論なしと認めます。

これから、議案第48号令和5年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業会計補正予算（第3号）についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第48号令和5年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業会計補正予算（第3号）については、原案のとおり可決されました。

ここで休憩いたします。再開を2時20分いたします。

（午後 2時06分）

○議長（大西 智君） それでは、再開をいたします。

休憩前に戻り、一般議案を続けたいと思います。

（午後 2時20分）

◎議案第49号から議案第55号まで一括上程、説明、委員会付託

○議長（大西 智君） 日程第14、議案第49号令和6年度虻田郡洞爺湖町一般会計予算から議案第55号令和6年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業会計予算までを一括して議題といたします。提案理由の説明を一括して求めます。

八反田副町長。

○副町長（八反田 稔君） それでは、議案書31ページをお開き願いたいと思います。

議案第49号から議案第55号まで一括して提案させていただきます。

初めに、議案第49号令和6年度虻田郡洞爺湖町一般会計予算でございます。

令和6年度虻田郡洞爺湖町一般会計の予算は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の総額をそれぞれ78億8,200万円と定めるものとでございます。

第2条、債務を負担する行為ができる事項、期間及び限度額は、「第2表 債務負担行為」によるものとございます。内容については、事項別明細書の中で説明させていただきます。

第3条、地方債を定めるもので、地方自治法の規定によりまして起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第3表 地方債」によるものとしております。これも、内容につきましては事項別明細書で説明させていただきます。

第4条は一時借入金で、借入れの最高限度額を15億円と定めるものとでございます。

次に、39ページをお開き願いたいと思います。

議案第50号令和6年度虻田郡洞爺湖町国民健康保険特別会計予算でございます。

第1条、歳入歳出予算の総額をそれぞれ12億1,858万3,000円と定めるものとでございます。

第2条は一時借入金で、借入れの最高限度額を4億円と定めるものとでございます。

続きまして、42ページをお開き願います。

議案第51号令和6年度虻田郡洞爺湖町介護保険特別会計予算でございます。

第1条、歳入歳出予算の総額をそれぞれ12億9,971万3,000円と定めるものとでございます。

次に、45ページをお開き願います。

議案第52号令和6年度虻田郡洞爺湖町後期高齢者医療特別会計予算でございます。

第1条でございますが、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億9,837万8,000円と定めるものでございます。

次に、48ページをお開き願いたいと思います。

議案第53号令和6年度虻田郡洞爺湖町水道事業会計予算でございます。

第2条で、業務の予定量を定めております。給水戸数は3,620戸、年間総給水量は93万2,500立方メートル、1日の平均給水量は2,500立方メートルでございます。主な建設改良事業といたしましては、配水管布設工事で297メートル、配水管布設替工事で254メートル及び浄水場施設整備一式などでございます。

第3条の収益的収入及び支出でございます。

収益的収入及び支出の予定額は3億1,188万2,000円としております。

第4条の資本的収入及び支出でございます。49ページになりますが、収入は1億510万円、支出につきましては1億9,349万4,000円と見込んでおります。この収支が不足する分につきましては、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填するものでございます。

第5条の企業債でございますが、起債目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次に定めるものとしております。内容は、事項別明細書で説明いたします。

第6条は債務負担行為でございますが、三豊配水池施設更新実施設計業務と上水道施設監視制御設備更新工事についての期間と限度額を定めたものでございます。

ページをめくっていただきまして、第7条は一時借入金で、限度額を5,000万円と定めるものでございます。

第8条は、予定支出の各項の経費の金額の流用を次の2項とすることで定めております。

第9条は、議会の議決を経なければ流用することができない経費を定めておりまして、職員給与費で1,776万7,000円でございます。

第10条は他会計からの補助金で、一般会計からの補助金を受ける金額を5,300万円とするものでございます。

第11条は、たな卸資産の購入限度額を868万1,000円と定めたものでございます。

次に、51ページになります。

議案第54号令和6年度虻田郡洞爺湖町簡易水道事業会計予算でございます。

第2条で業務の予定量を定めております。給水戸数は770戸、年間総給水量は21万7,800立方メートル、1日平均給水量は596立方メートルでございます。主な建設改良事業として、簡易水道施設整備一式と老朽管布設替工事で110メートルを予定しております。

第3条の収益的収入及び支出でございますが、収益的収入及び支出の予定額は、収入、支出とも8,817万6,000円としております。

第4条の資本的収入及び支出で52ページになりますが、資本的収入は4,010万円、支出は7,334万3,000円を見込んでおります。これで不足する部分につきましては、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度損益勘定留保資金と当年度損益勘定留保資金、当年

度未処分利益剰余金で補填するものとしております。

第5条の企業債でございますが、こちらは起債の目的、限度額、起債の方法、利率、償還の方法を定めております。内容は、事項別明細書で説明させていただきます。

第6条は一時借入金で、限度額は5,000万円と定めたものでございます。

第7条は、予定支出の各項の経費の金額の流用を次の2項とすることを定めております。

53ページになりますが、第8条は、議会の議決を経なければ流用できない経費を定めております。職員給与費で1,017万2,000円でございます。

第9条は他会計からの補助金で、一般会計からの補助を受ける金額を2,380万円とするものでございます。

第10条のたな卸資産の購入限度額は16万8,000円と定めるものでございます。

次に、54ページになります。

議案第55号令和6年度虻田郡洞爺湖町公共下水道事業会計予算でございます。

第2条、業務の予定量でございますが、接続戸数は3,565戸、年間処理水量は150万5,885立方メートル、1日平均処理量は4,125立方メートルでございます。主な建設改良事業といたしましては、虻田下水終末処理場外改築更新工事一式を予定しております。

第3条、収益的収入及び支出で、収入、支出とも5億9,343万3,000円を予定しております。

第4条の資本的収入及び支出でございます。55ページになりますが、収入は資本的収入は2億8,337万4,000円、支出は4億303万4,000円を見込んでおります。これに対する不足につきましては、過年度損益勘定留保資金、当年度損益勘定留保資金で補填することとしております。

第5条の債務負担行為は、洞爺湖町公共下水道虻田下水終末処理場他の建設工事委託に関する協定についての期間と限度額を次のとおり定めるものでございます。

第6条は企業債として、起債の目的、限度額、起債の方法、利率、償還の方法について、次のとおり定めたものでございます。内容については、事項別明細書で説明させていただきます。

第7条は一時借入金で、限度額を5,000万円とするものでございます。

最後のページになります。

第8条は、予定支出の各項の経費の金額の流用を次の各2号とすることを定めております。

第9条は、議会の議決を経なければ流用することができない経費を定めております。職員給与費で4,038万8,000円でございます。

第10条は他会計からの補助金で、一般会計からの補助を受ける金額を3億3,155万3,000円とするものでございます。

続きまして、簡単に予算書付属説明資料で説明させていただきたいと思います。

予算書付属説明資料をお開きいただけますでしょうか。

1ページをご覧くださいと思います。各会計予算総括表でございます。

一般会計、特別会計、企業会計を含めた全会計の予算総額でございますが、下にあります

122億6,203万6,000円でございます。前年比0.4%の伸びでございます。

次に、2ページをご覧くださいと思います。一般会計歳入予算款項別集計表でございます。主なものについてのみ説明させていただきます。

1 款町税でございますが、1 項町民税が給与所得の課税標準額の減によりまして1,010万円の減となっております。また、2 項固定資産税は3年に一度の評価替えによりまして1,980万円の減。それから5 項入湯税でございますが、訪日外国人等の回復による宿泊客の増によりまして7,000万円の増額で、町全体での前年比でいきますと4,564万円、3.9%の増を計上しております。中段になります11款地方交付税でございますが、国の地方財政計画による一般財源の総額の伸び率や昨年度の交付実績等を勘案しまして、前年同額でございます35億円を計上させていただいております。15款国庫支出金で、公営住宅の高砂団地改修工事の資本的整備総合交付金の増によりまして8,199万円、20.1%の増でございます。16款の道支出金でございますが、二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金などで減額となります。前年比で1,144万2,000円の減となっております。18款寄附金でございます。ふるさと納税寄附金の増額を見込んでおりまして、前年比よりも3,345万1,000円の14%の増を見込んで2億7,220万1,000円を計上させていただいております。19款繰入金は、収支不足を補うための財政調整基金を2億円、合併地域振興基金で2,320万円、公共施設等整備基金で4,470万円、みんなの基金5,120万円を合わせまして全体で3億6,365万円を計上しております。一番下段の22款町債でございますが、西いぶり広域連合中間処理施設建設工事負担金、水槽車、通信指令台の更新など西胆振行政事務組合負担金の増によりまして、前年比3,760万円、3.8%の増となっております。

次に、3ページの予算款別性質別集計表でございます。

小さくて申し訳ないのですが、区分1の人件費、5の扶助費、9の公債費でございますが、この義務的経費の合計でおおむね32億8,336万2,000円ほど計上させていただいております。前年比2.3%の増でございます。そのほかでは、6の普通建設事業で庁舎及び公営住宅の長寿命化、とうや水の駅改修など6億6,405万8,000円で、前年比1億9,872万8,000円、8.4%の増となっております。

4ページから款別節別集計表、18ページから一般会計歳出予算事業概要説明書で昨年度からの事業概要、変更点、主なものを掲載しております。

こちらにございませんが、主な歳出の事業を申し上げますと、投資的な事業におきましては、新規事業といたしまして保育所統合複合化施設実施設計、小中学校の空調設備の設置の実実施設計、水の駅トイレ改修事業、高砂団地長寿命化事業などが新規事業でございます。継続事業といたしましては、役場庁舎長寿命化、公営住宅長寿命化、洞爺地区の財田自然公園観察道路改修事業、洞爺湖温泉大通り線の照明灯改修工事などでございます。また、ソフト事業といたしましては、今年度は箱根町との姉妹都市提携60周年記念事業、地域おこし協力隊の隊員の増員、洞爺湖町地域防災計画の見直しなどでございます。また、保育所保育料等の無料化、高校生までの医療費無料化、出産祝い金の支給、おむつ等の育事用品支給、中学

校の制服等購入助成、高校生通学費助成など、子育て支援事業につきましては継続して計上させていただきます。

予算の詳細につきましては、設置が予定されております予算審査特別委員会で説明があると思いますので、説明は以上とさせていただきます。

令和6年度各会計予算案を一括してご提案させていただきます。

以上でございます。

○議長（大西 智君） 提案理由の説明を終わります。

ここでお諮りいたします。

本案については、議長を除く全議員による予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することとしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大西 智君） 異議なしと認めます。

したがって、本案の各会計予算については、議長を除く全議員による予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定いたしました。

ここで、正副委員長を選出のため暫時休憩いたします。

特別委員会を開催していただき、正副委員長の互選をお願いいたします。

暫時休憩いたします。

（午後 2時40分）

○議長（大西 智君） それでは、休憩前に戻し、再開をいたします。

（午後 2時47分）

○議長（大西 智君） ただいま予算審査特別委員会が開催され、正副委員長が決定しましたので、ご報告申し上げます。

予算審査特別委員会委員長には板垣議員、副委員長に石川邦子議員が選出されました。

◎散会の宣告

○議長（大西 智君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

本日は、これをもって散会いたします。

（午後 2時47分）

会議の経過は以上のとおり相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員